

2019年9月12日  
日立オートモティブシステムズ株式会社

## 夜間の歩行者検知機能を有するステレオカメラが スズキの「キャリイ」に軽トラックとして初採用

日立オートモティブシステムズ株式会社(プレジデント&CEO:ブリス・コッホ/以下、日立オートモティブシステムズ)の夜間の歩行者検知機能を有するステレオカメラが、スズキ株式会社(代表取締役社長:鈴木 俊宏/以下、スズキ)が一部仕様変更し、安全装備の充実とともに今年より販売開始する軽トラック「キャリイ」に採用されました。なお、夜間歩行者検知に対応したステレオカメラが搭載された軽トラックは「キャリイ」が初\*1となります。

国内では、軽トラックのメインユーザーとなっている農作業において、年々、進行する高齢化を背景に「歩行者の検知・保護システム」や「衝突被害軽減ブレーキ」などの先進安全技術の装着意向が強くなっており\*2、当社は夜間歩行者検知にも対応するステレオカメラの提供を通じてユーザー需要が高まる先進安全技術を支えます。

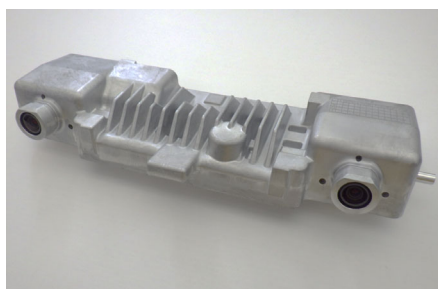
今回、一部仕様変更された「キャリイ」には、車線逸脱警報機能、ふらつき警報機能、先行車発進お知らせ機能などの先進運転支援システム(Advanced Driver Assistance System: ADAS)が装備されました。さらに、スズキの車種では「ソリオ」「ソリオバンディット」「エブリイ」「エブリイワゴン」が装備している衝突被害軽減ブレーキを支える夜間歩行者検知機能が「キャリイ」にも追加されています。この機能は、日立独自の機械学習技術を活用したもので、膨大な画像の教師データをステレオカメラに入力することで、これまで困難であった高精度な夜間の歩行者検知を実現しています。

なお、今回の軽トラック「キャリイ」は、経済産業省や国土交通省などが普及を推進する「サポカーS ワイド」\*3に該当しています。日立オートモティブシステムズは、このような安全運転サポート車を高度なADAS技術で支援していくとともに、高齢者を含むドライバーによる歩行者や自転車の巻き込みなどの交通事故の防止に今後も貢献していきます。

\*1 軽自動車トラッククラス。2019年9月現在、スズキ調べ。

\*2 一般社団法人日本自動車工業会(JAMA)「2018年度小型・軽トラック市場動向調査」より。

\*3 被害軽減(自動)ブレーキなどの先進安全技術をはじめとする一定の運転支援機能を備えた車(安全運転サポート車。略称・サポカー)のうち、ペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載することで特に高齢運転者に推奨される「サポカーS」の区分のひとつ。「サポカーS ワイド」は、被害軽減(自動)ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載する車。



夜間の歩行者検知機能を有したステレオカメラ

1



当社のステレオカメラが搭載された  
「キャリイ KX」

## ■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---